



6次産業化・地産地消メールマガジン

令和7年2月4日発行 第299号



日本の「食」はかつてない程に世界中の人々を魅了し、高い評価を得ています。この時流に適応し、大きなチャンスをつかむべく、日本の多様で豊かな食文化を支えている日本の中堅・中小食品企業の皆様に向けて、食品流通・輸出に取り組んできた商社様、パートナー企業様とタッグを組んで、食品輸出研究会を開催します！

株式会社船井総合研究所では、これまで長年にわたり食品業界における中堅・中小企業の業績アップに取り組んで参りました。その経験から、これら中堅・中小企業こそが、特色ある日本の多様で豊かな食文化を支えており、これからの日本の顔として、必ずや海外のマーケットにも通用することを確認しております。

そこでこの度、食品流通・輸出に取り組んできた商社様、パートナー企業様とタッグを組んで、中堅・中小の食品企業様向けに、会員企業相互の実践と情報交換を通じて、日本の「食」を世界に輸出することを目指す食品輸出研究会を開催致します。

食品輸出研究会は、単発型のセミナーとは異なり、定期的なインプット・アウトプットにより、高いモチベーションの維持が可能となる、成長の場となります。同業の経営者やコンサルタントとのディスカッションやアドバイスがあるため、自社だけで取組みを進める場合と比べ、短期間で確実に業績アップすることが可能となります。また研究会は師と友づくりの場としてご活用頂けます。

食品輸出研究会

<https://lpsec.funaisoken.co.jp/study/funai-food-business/120935/>

【研究会の特徴】

1. 食品輸出に興味をお持ちの企業様が集まる会員制勉強会！
2. 食品輸出に関する最新事例や情報が集まる！
3. 輸出成功企業をゲストに招きリアル講演&徹底解説！
4. 定例勉強会以外でも聞きたいことがスグ聞ける！
5. 食品コンサルタントより、お悩み事の相談も随時可能！

無料！お試し参加のご案内

【食品輸出研究会 第2回例会】

開催日時：2025年2月26日（月） 13時00分～16時00分

開催場所：船井総研グループ東京本社 サステナグローススクエア
TOKYO（八重洲）

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-2-1

東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー35階

開催内容：受講型の講座と参加者様参加型の講座

参加料：無料（初回お試し参加）

===お試し参加前のご確認事項===

お試し参加は、本会への入会をご判断いただく場です。

ご参加当日に入会判断をお願いしております。

原則「経営者」「決裁権者」様のご参加をお願いいたします。

また、お試しご参加は、1社1回限り・2名様までとなります。

【講座内容】

第1ゲスト講座：伝統と革新を融合し、世界へ羽ばたく日本酒

講師：株式会社金谷酒造店 代表取締役社長 金谷 芳久 氏

プロフィール：

石川県白山市に位置する金谷酒造店は、小規模ながらも日本酒輸出に積極的に取り組む、革新的な酒蔵。20年以上前から国内の日本酒消費量の減少傾向を見据え、いち早く海外市場に目を向け、2000年にはオーストラリアで他の小規模酒蔵と共同で日本酒造りを行うなど、先駆的な取り組みを続けている。同社の成功の鍵は、市場ニーズへの的確な対応で、アジア市場では、金粉入りの日本酒がヒット商品となるなど、現地の嗜好を捉えた商品開発に成功し、また、カナダへは直接輸出を行うことで、顧客との密な関係を構築し、着実に販売を伸ばしている。日本で有名でないブランドでも海外で通用する」という信念のもと、金谷酒造店は、伝統を守りながら革新を続け、世界中の日本酒ファンを魅了し続けている。

第2ゲスト講座：「11年連続増収！BtoBに絞って一点突破！宮崎から世界へ羽ばたく“さつまいも”」

講師：株式会社くしまアオイファーム 代表取締役社長 奈良迫 洋介氏

プロフィール：

宮崎県串間市の農業生産法人で、2013年の立ち上げから11年増収増益で年商25億を達成する。現・社長の奈良迫氏は2020年、創業者で現・会長を務める池田誠氏から2代目として社の経営を任されている。現在、海外の規制やニーズに対応して継続的に輸出に取り組み、輸出取組の手本となる産地である「フラッグシップ輸出産地」として農林水産省より認定されている。自社生産のほか契約農家との連携、貯蔵庫・出荷場の整備により高品質かつ多品種なサツマイモを多量に取り扱うことができ周年出荷も可能。貯蔵設備の総収容量は約3,500トンに及ぶほか日量20トンもの出荷を可能とするなどサツマイモ生産・輸出の日本トップランナーである。

【詳細、お申し込み先】

<https://lpsec.funaisoken.co.jp/study/funai-food-business/120935/>

◇ メルマガの配信登録・解除はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

◇ 農林水産省では、これまでの6次産業化を発展させた「農山漁村発イノベーション」の取組を支援しています。

詳しくはこちら（農林水産省HP）

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/inobe/index.html>

*** 【発行元】*****

農林水産省 農村振興局 農村政策部

都市農村交流課

〒100-8950 東京千代田区霞が関1-2-1

代表：03-3502-8111（内線：5446）